

先人の知恵と技を受け継ぎ

◎平成21年度手すき和紙体験教室

2月14日、小倉コミュニティセンターで、平成21年度手すき和紙体験教室が行われました。

この教室は、泉貨紙保存会が開催しているもので、この日は7名の参加者がありました。

まず、会長の平野さんから、「泉貨紙とは、戦国時代に活躍した兵頭太郎右衛門（法号・泉貨居士）という武士が開発したことから、この名がついた。泉貨紙の特徴は、2枚の



紙を重ねて作るためとて「も丈夫」との解説があり、そのあと作成工程の説明と手すきの実演がありました。

参加者は会員の指導のもと手すきを行いました。想像以上のきめ細かさや求められる作業に悪戦苦闘していました。反面、うまくできた時には、他の参加者からも拍手が起るといった場面もあり、終始和やかな雰囲気での体験していました。



きじ鍋に長蛇の列

◎きじ鍋祭り

特産品の鬼北熟成きじをPRしようと、2月21日、成川溪谷休養センターで、きじ鍋祭りが開催されました。

当日は、きじ鍋、きじ飯、町内で採れた野菜などが販売されたほか、昨年からの販売が開始されたきじ酒も陳列され、それらを堪能しようとする町内外から訪れた大勢の来場者は興味深そうに足



を止めていました。きじ鍋は、きじ生産者部の会のメンバーが早朝から準備し、600食限定で販売。行列ができるほどの盛況ぶりでした。

また、休養センターのレストランではきじ丼、きじカレーなどが販売され、とても活気に満ちたイベントとなりました。

夢への第一歩

◎愛媛マンドリンパイレーツ野球教室

鬼北町商工会青年部が主催する、「あなたの夢叶えてあげられるかも!」事業の一環として、2月28日、鬼北総合公園グラウンドで、愛媛マンドリンパイレーツ野球教室が開催されました。

この日を心待ちにしていた児童・生徒たちは、選手たちの丁寧な指導に真剣に耳を傾け、一生懸命練習していました。

